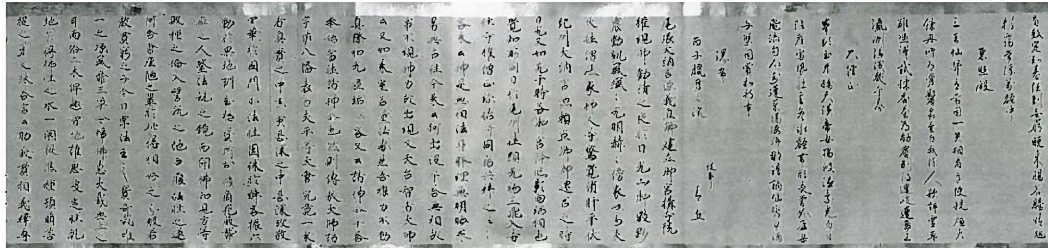
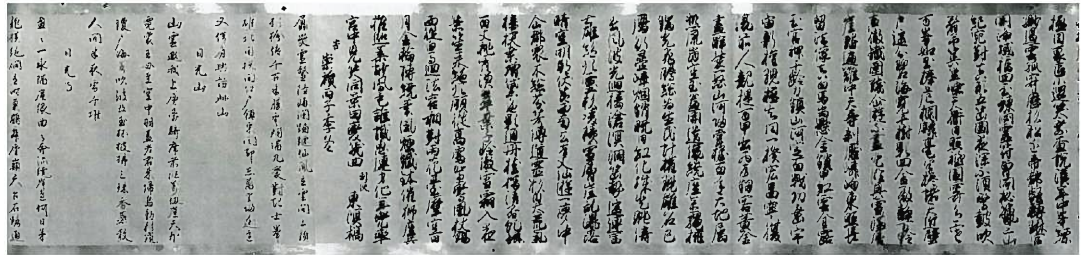


○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. III-15	資料名	東照社縁起(真名本)3巻のうち 中巻
------	-----------	-----	--------------------

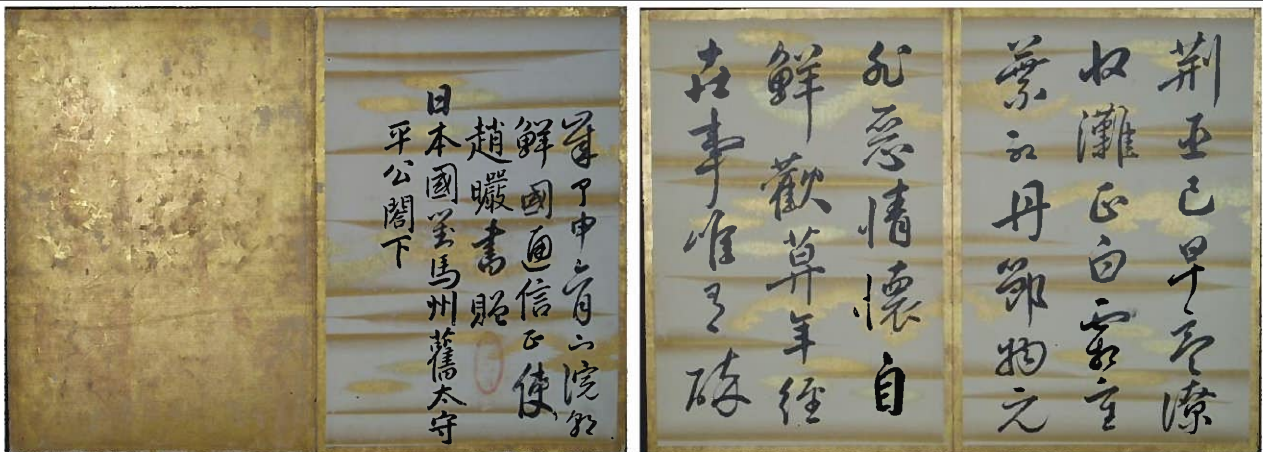


(図版は部分)

卷子装 紙本墨書 [縦×横] 32.7×1170.0cm

1636年に朝鮮通信使が日光を訪問した際に詠んだ詩16点が所収されている。画はなく詞書のみであり、全て漢文(真名)で記されている。JIII-14と同じく、家光の命により作成され日光東照社に奉納されたものである。朝鮮通信使と徳川將軍家の関係を知ることができる資料である。

資料番号	J. III-16	資料名	宝暦十四年朝鮮通信使正使趙曦書帖
------	-----------	-----	------------------



(図版は部分)

手鑑装 紙本墨書 [縦×横] 29.0×21.6cm

1763~64年の朝鮮通信使正使である趙曦が帰国途中の対馬において、中国の古詩などを様々な書体で揮毫し、豪華な手鑑に仕立てて前対馬藩主に贈ったもの。朝鮮通信使と対馬藩主家との親密な関係をうかがうことができる。両者の交流、正使の学問的な素養を知ることができる資料である。

趙曦はこの使行において、対馬で天災に強いサツマイモの存在を知り、これを朝鮮に持ち帰って救荒作物として広めた人物として著名である。